

上野ひでのり講師 第4回
「先読みバランスチャートFX」
主要インジケータの読み方

デイリー定点観測

ザラバ 日足、4時間足、1時間足、15分足、5分足

超短期デイトレ戦略(30分~2時間)では、4時間足のダウの方向でトレードの方向を決定する
読み取れたことをコメントとして書き出す

定点観測のポイント

ダウ ≡ ボーダーラインとアラートラインの方向
トレンドは明確な転換シグナルが発生するまでは継続する

ローソク足の位置 直近の高値と安値の確認
近くにどんなラインが走っているか?
上下どちらにスペースが空いているか?

先読み短期セット、中期セット、長期セットの位置、クロス関係はどうなっているか?

短期サインと中期サインのクロス関係の確認
⇒今回も、ボリンジャーバンドとRSIは無視して解説します。

仕掛けの原則

ダウが向いている方向以外には仕掛けない 上位、下位の時間軸で方向が食い違っている場合には要注意
ラインが混み合っているところ(レンジ)から、抜ける瞬間を待つ

EUR/USD 2012年10月26日
終値:1.29341ベース

日足 上げ
4時間足 下げ
1時間足 下げ
15分足 下げ

今後のシナリオ

動意待ち 週明けすぐには方向性を確かめるため手出し無用

通貨ペア	時間軸	ダウ	記入日時	分析コメント
EUR/USD	月足	下げ	12/10/27 6:00	2010年6月7日の安値1.18760を更新することなく、7月24日の年初来安値1.20411から反発局面である。短期サインのサポートを使うか横抜けすると、上昇方向にスペースが広がり、年初来高値の1.34853、アラートラインの1.34902近辺までの上昇は、年内に示現する可能性がある。一方、中期サインの1.2773を下抜けるようだと、再度1.20411の安値を試していく可能性もある。ただし、この近辺には長期サインのサポートが控えているので、年内に1.2割れの可能性は低いだろう。年内は、1.2から1.34後半までのレンジ相場を想定しておきたい。つまり年初来安値から高値までのあいだでどちらにも動く可能性があるが、現状では上のほうが伸びしろが大きいイメージである。今月中は短期サインがレジスタンスになっているため上値が重く、9月の高値を上抜けず、はらみ足になっている。来週の木曜日か11月に入り、ローソク足が横抜けすると上値にスペースが広がってくる。
	週足	下げ	12/10/27 6:00	2008年7月15日の史上最高値1.60370からの戻り高値である2009年12月2日の1.51440及び2011年5月4日の1.49393以降、ボダー・アラートは下げダウが継続している。短期・中期・長期サインの関係もショート方向へのパーフェクト・オーダーを形成している。しかし、月足で述べたように2年前の安値を切り上げて上昇中であることから、三角保ち合いの形に入りつつあるとも読める。過去5週間は、短期セットがレジスタンスとして集中する1.3157とボダーラインのサポート1.26617の500pips弱のスペースでのレンジ相場になっているが、7月24日の安値からの上昇の勢いをまだ維持していると考えられる。先週のローソク足は上げダウの形で終わったものの、今週は高値・安値とも切り下げて下げダウの形になった。来週も短期サインのレジスタンスが重い相場になるため、上値の余地は限られるだろう。
	日足	上げ	12/10/27 6:00	今後上値を試すためには、来週後半から再来週前半にかけて、9月17日の高値1.31709とぴったり重なる長期サインのレベルを短中期サインがゴールデンクロスして上抜いていく必要がある。週明けは、アラートラインと短期サインが頭を押さえる形で、すぐに上には抜けにくい。ロンドンタイム序盤(来週から冬時間に入り16時以降)には横抜けしてロング方向にスペースが広がってくる。
	4時間足	下げ	12/10/27 6:00	7月24日からの回復相場の中で、ずっと上げダウを維持していたが、下げダウに転じつつある。このまま崩れてしまうのか9月の高値を追えるかだが、月が変わらないと強気には転じにくいだろう。中長期サインと短中期サインはいずれもデッドクロスし弱気転換している。現在のローソク足の実体は中期ベルトに乗った状態だが、アラートラインの1.29813がレジスタンス、中期サインの1.2882がサポートになっている。上下に約50pipsずつのスペースがあるが、週明けはこのレンジ内での動きに留まる可能性が高い。
	1時間足	下げ	12/10/27 6:00	ボダー・アラート、短中長期サインはショート方向へのパーフェクトオーダーを形成している。現在は長期セットの上に乗った状態であるが、金曜日のロンドンタイム以降に1.28815の安値を取り、その後往って来いで上げ戻した形。4時足のサポートが効いた形だが、1時間足以下は、ショート方向に何のサポートがない状態なので、しばらくは下落バイアスがかかり続けるだろう。
	15分足	下げ	12/10/27 6:00	昨日のロンドンタイム序盤で下げ、その後上げ戻し、NYタイムはレンジでの推移だったので、ローソク足の実体が込み入ったラインの中に潜り込んでしまった形である。短中期サインはゴールデンクロスに転じているが、レジスタンスが分厚く、すんなりと上昇する可能性は低い。
	5分足	上げ	12/10/27 6:00	狭いレンジで週末を迎えたので、週明けはどちらに抜けてもおかしくない状態で、次の動意を待つしかないだろう。
		総評 仕掛けのチャンス		12/10/27 6:00